

2008年1月1日
21号

かけはし

水戸総合病院広報誌

発行所 株式会社製作所水戸総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029 (272) 5111
発行人 仲村 稔
編集 広報委員会
URL: <http://www.hitachi.co.jp/hospital/mito/>

【水戸総合病院理念】

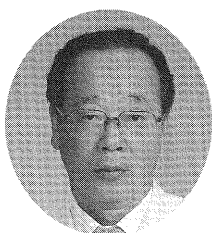
説明責任を基本とした最新の技術と最良のサービスの提供により患者さまの満足される医療を遂行する

【水戸総合病院基本方針】

「地域の皆様の信頼と満足が私たちの生きがいです」のもとに、①急性期医療に重点を置いた地域完結型医療の実施、②最新の医療技術の確立、③説明責任を実施することによる最良のサービスの遂行を実践する

水病リニューアル元年に向けて

水戸病院院長 永井庸次



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、清々しい新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

前回のかけはしにも少し書かせていただきましたが、昨年9月6日、水戸病院新病棟建築計画の計目認可を無事頂くことができました。本社の方々、岡茨城病院センタ長を始めとする茨城病院センタ・水戸総合病院の皆様方はもちろんのこと、何はさておいても地域の皆様方のこれまでの厚い絶大なるご支援に深く感謝申し上げます。新病院の使命は「地域を護る病院」としました。本年早々基本設計を終え、実施設計・着工を本年末には始めませんと、2010年竣工

には間に合いません、本年は、今まで以上に気を引き締めて職員一同一丸となり頑張りたいと思っていますので、皆様方にもよろしくお願いいたします。

また、皆様方にはご迷惑をおかけしないような対応を考えておりますが、本年度は診療報酬改定、後期高齢者医療制度の開始、県による新医療計画の開始、特定健診・保健指導の導入等、新規事業が目白押しです。そのためにも、本年度は改めて職員一同「学ぶ」という方針で一年間病院全体の業務を実施していきたいと思っています。

最後に、皆様方のますますのご健勝とともに、水戸病院新病棟建築の早期着工を祈念して、新年のごあいさつとさせていただきます。

「うたごころ」のイベントを開催しました

地域医療連携室 上村 和恵

相談室では、当院をご利用いただいている患者様・ご家族様、及び職員の皆様から「うたごころ」と題して俳句・短歌・川柳を募集しました。「うた」を通して、自己表現をしたり、気分転換をしたりすることで、患者様やご家族様の気持ちが和らぐのではないかと考え実施しました。10月下旬より一ヶ月間募集した結果、多数の応募を頂き、作品の一部を院内11箇所に掲示させて頂きました。ここでも一部ご紹介いたします。

大賞 「羊より 点滴数えて 眠くなり」

- ・マスクした 主治医の体調 気にかかる
 - ・古い病い 診察側も 高齢化
 - ・ナースには 陸上選手が いるらしい
 - ・スタッフの 優し笑顔に 痛み薄れ
 - ・灯を消して 病棟の廊下 静かなり
 - ・老犬との 週末散歩 枯葉踏む
- 犬にせがまれ 主人の健康

その他にもたくさんの応募をいただきました。今後にも何かほっとして頂けるような企画をしていきたいと考えていますので、ご利用をお待ちしています。

市民公開講座を開催しました

事務局 渡辺 明宏

2007年12月15日(土)水戸総合病院総合健診センターにおいて、第16回市民公開講座が開催されました。

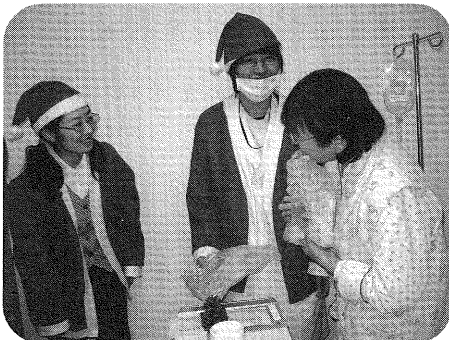
今回は、「生活習慣病と動脈硬化の予防、そして健康川柳の午後」というテーマで、循環器内科の田中主任医長より、動脈硬化の予防、診断、治療についての内容でした。

医学的な専門用語についても、誰でも分かるように例え話を踏まえながら説明があり、また、講演の間に「川柳」を取り入れる等、和やかな雰囲気での講演が終了しました。

ボランティアサンタのプレゼント

ボランティア委員会

去る12月24日のクリスマスイブに、ボランティア委員会では、入院患者さまに「サンタさんのプレゼント」を実施しました。病気で入院生活を余儀なくされている患者さまを少しでも励まそうと、ボランティア、地域連携室のスタッフや職員全員が、手作りのカード、網ぐるみ、クリスマスグッズを作成しました。当日、医師が扮したサンタクロースにプレゼントを渡された患者さまは、とても感動しておりました。病気で不安の患者さまも、先生方の優しさに触れ涙ぐむ方もおりました。臨床研修医も



「ここは僕の患者」と嬉しそうにプレゼントを渡す姿は「生きた医の倫理」ではないかと思えます。

採用・退職医師の紹介

担当科	氏名	異動日
内科	佐藤 陽子	採用(2007.10/1)
整形外科	青戸 克哉	採用(2007.11/1)
小児科	泉 維昌	退職(2007.12/31)

水戸総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

2008年

水戸総合病院							総合健診センター						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2						1	
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31												

■は水戸総合病院休日 ○は総合健診センター休日

職場体験

看護局 小室 万左子

当院では、近隣の小中学生や県内の高校生の職場体験に協力しています。2007年は約50名の生徒さんが来院されました。働くことの大切さや楽しさ、人とのふれあいの喜びや難しさなどを体験していただいています。

職場体験後の感想にはしばしば励まされ、病院で働く喜びを感じさせてくれます。ある高校生の感想をご紹介します。

『一人ひとりにそれぞれ必要なことがあって、食事もベッドもそれからお風呂に入るのにも。少し体験するのも大変だったけど、仕事にしている看護師さんはすごいと思った。患者さんの足を洗ったとき、とても喜んでもらえて笑顔で「ありがとう」と言われたときは本当にうれしかったです。☆早くよくなってくれますように☆』
体験された皆さんお疲れ様でした。

ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット

保健師 青木 章子

国はインフルエンザ総合対策について、2007年11月9日をキックオフデーとし、<ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット>という標語を掲げ、今冬のインフルエンザ対策に取り組んでいます。周囲の方への感染拡大の防止のため、咳エチケットをキーワードとした普及啓発活動を行い、マスクの着用や人混みにおいて咳をする際の注意点について呼びかけています。

「咳エチケット」

- 咳・くしゃみ際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。
- 呼吸器系分泌物(鼻汁・痰など)を含んだティッシュをすぐに蓋付きの廃棄物箱に捨てられる環境を整える。
- 咳をしている人にマスクの着用を促す。
- マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用する。

感染防止のためにうがい・手洗い、そして、感染拡大の防止のために「咳エチケット」ちょっとした心遣いを忘れずに!